

<p>児童生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が知的障害を有している。障害の程度の幅が広く、また知的障害以外の障害を有している児童生徒もいる。 ・コミュニケーション力や日常生活動作など、社会生活能力の向上を課題としている児童生徒が多く、その改善に向けて努力している。 	<p>学校の教育目標</p> <p>児童生徒一人一人の心身の発達、能力・特性に応じた教育を行い、その可能性の伸長に努め、健康で人間性豊かな人間の育成を目指す。</p>	<p>保護者・教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保有している能力を伸ばし、その力を十分発揮して、やりがいのある仕事や活動に取り組んでほしい。 ・周囲の人たちと仲良くし、力を合わせて楽しく充実した社会生活を送ってほしい。
<p>「志教育」の目標</p> <p>個々の障害や能力・特性に応じて自分の生きがいを見出し、周囲の人と協調して、希望を持って意欲的に生活しようとする態度を育成する。</p>		

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<p>障害の程度や能力に応じたコミュニケーション方法を身につけ、他者の存在を意識し、良好な人間関係を築こうとする態度を養う。</p>	<p>学習活動を通して学ぶことや働くことの意義を理解し、将来の生き方や生活につながる夢や希望をもつことができるようにする。</p>	<p>校内や地域での活動の中で、「人の役に立ってうれしい」という経験を積み重ね、社会の一員としての自覚や自己有用感を育む。</p>

各教育活動における取り組みの観点	
各教科	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな学習活動を通して、自分の得意なものを見つけ伸ばしていこうとする。 ・集団生活のルールや生活に必要な知識や技能を身に付け活用する。 ・働く生活につながる体験を通して、自分の将来の生活を前向きに思い描く。
科 特別な道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の中で必要なルールを学び、社会人としてのマナーを身に付ける。 ・相手の意思や気持ちを理解し、協力して良好な対人関係を築こうとする。
学習の総合的な時間	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々との交流や学校周辺の清掃活動を通して、自分にもできることがあり、役に立てることがあるという有用感を持つ。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果を発表する場を通して、成就感や達成感を味わい、次の活動にさらに自信を持って取り組もうとする。 ・校外での学習活動を通して実際の社会生活に触れ、興味関心の幅を広げ、生きがいや夢につなげる。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一人に応じた望ましいコミュニケーションのとり方を身に付け、活用する。
その他	<p>【居住地校学習（小・中学部）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地域の方や他校の児童生徒との交流及び共同学習を通して、様々な夢や考え方に触れ、自己の生き方を考える一助とする。 <p>【サークル活動（高等部）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味のある活動を自分で選択し、目標を持って意欲的に取り組む。

各学部・学年の取り組みの内容	
小学部	<p>【かかわる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人たちに自分の気持ちを表現したり、働き掛けを受け入れたりする。 ・友達を意識して活動する。 <p>【もとめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな学習活動を通して、生活経験の幅や興味関心を広げる。 <p>【はたす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動等で役割を意識して行動しようとする。
中学部	<p>【かかわる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分からあいさつするなど、積極的に他者とかかわったり、受け入れたりする。 ・友達とかかわりの中で、互いのよさを認め合ったり励ましあったりする。 <p>【もとめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことや興味を持ったことに進んで取り組む。 ・校外での学習を通して社会と接点を持ち、実際の社会の様々な仕組みを理解する。 <p>【はたす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の役割や課題を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験する。
高等部	<p>【かかわる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と、場に応じた適切なコミュニケーションをとる。 ・状況に適応し、他者を尊重しながら、よりよい人間関係を築こうとする。 <p>【もとめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがいや夢を持ち、それに向かって主体的に取り組む。 ・事業所や施設の見学を通して、自分の進路を選択・決定する。 <p>【はたす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業体験など働く体験を通して、社会の一員としての卒業後の生活を考え、進んで自分から取り組む。

家庭との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での手伝いを積極的に推奨し、家庭の一員としての自覚を促す。 ・支援方法の共通理解を図る。

地域・企業との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・居住地域での行事や奉仕活動などへの積極的な取り組みを促す。 ・就業体験や卒業後の生活において働く体験の場を確保するため、事業所や福祉施設への働き掛けを積極的に行い、理解を得、連携を深める。